

若年がん患者生殖機能温存治療費助成事業

予算要求額: 121,300千円

■対象

- 40歳未満（ただし、凍結更新及びがん治療後の妊娠のための治療は43歳未満）
- 都内に住所を有する者
- 以下の施設で生殖機能温存治療を受けた者
 - 女性：日本産婦人科学会「医学的適応による未受精卵子、胚（受精卵）および卵巢組織の凍結・保存に関する登録施設」
 - 男性：がん治療施設から紹介を受けた医療機関

■助成内容

- 助成上限額：都内の生殖機能温存に関する登録施設（18施設）に対する調査における標準的な治療費の平均額
- 助成回数：【生殖機能温存治療】1回
 - 【凍結更新】患者年齢が43歳未満かつ妊娠のための治療を6回（1子ごと）受けるまで
 ≪40歳以上の場合は3回まで≫
 - 【妊娠のための治療】1子ごと6回≪40歳以上の場合は3回まで≫（ただし、卵巢組織移植は1回）
- 助成率：10／10
- 所得制限：なし
- 助成範囲及び金額

【生殖機能温存治療】（47,000千円）			【凍結更新】 （4,800千円）	【妊娠のための治療】（69,500千円/歳入22,800千円）		
保存方法	治療の流れ	助成上限額		保存方法	治療の流れ	助成上限額
受精卵凍結	卵巢刺激 ⇨ 採卵 ⇨ 受精 ⇨ 凍結	40万	3万/年	受精卵凍結	解凍 ⇨ 移植 ⇨ (妊娠)	10万/回
卵子凍結	卵巢刺激 ⇨ 採卵 ⇨ 凍結	30万		卵子凍結	解凍 ⇨ 受精 ⇨ 移植 ⇨ (妊娠)	20万/回
卵巢凍結	卵巢組織摘出 ⇨ 凍結	70万		卵巢凍結	解凍 ⇨ 移植 ⇨ 自然妊娠or受精卵移植 ⇨ (妊娠)	卵巢組織移植：60万 受精卵移植：40万/回
精子凍結	採精（手術含む） ⇨ 凍結	5万 (手術：30万)		精子凍結	解凍 ⇨ 妻の採卵 ⇨ 受精 ⇨ 移植 ⇨ (妊娠)	受精卵移植：40万/回

都独自

※ 国事業の内容を踏まえ変更する可能性がある。